

特別講演には小説家・朝井リヨウ氏

文部科学省、優れた成果あげた教職員827名等表彰

文部科学省は1月20日、東京大学安田講堂において、2025年度文部科学大臣優秀教職員表彰式を挙行了した。

文部科学省では、全国の国公私立学校(大学、高専を除く)の優れた成果をあげた現職の教職員を対象に、文部科学大臣による優秀教職員表彰を実施している。2006年度から実施しており、今年度は教職員827名

(国立22名、公立779名、私立26名)、教職員組織57組織(国立1組織、公立55組織、私立1組織)を表彰した。

式典では、松本洋平文部科学大臣が「教師は学校教育の充実・発展を通じた公教育の再生に欠かせない存在であり、子どもたちの人生に大きな影響を与え、子どもたちの成長を直接感じることができる、尊く、素晴らしい職業だ。皆さまが安心して本務に集中できるよう、教師を取り巻く環境整備について力強く取組を進めていく」と語った。その後、受賞者を代表して茨城県立水海道第一高等学校の西元重雄氏が挨拶し、「今後も、本校の更なる発展、そして日本の教育の未来に貢献できるよう一層の努力を続けていく」と述べた。式典後には、直木賞作家の朝井リヨウ氏による記念講演が行われた。朝井氏は自身の幼稚園から高校までの教員とのエピソードを紹介。教員からの言葉が「小説家」という夢への後押しとなったことを踏まえ、「私は今までかかわった先生に素敵な言葉や対応をしてもらった。(皆さんも)生徒の夢や話を聞くことがあったら、無責任でもいいので言葉をかけてほしい」と語った。



全国から教職員が集まり開催(東京大学安田講堂)



講演をする朝井氏

高市首相の解散表明受け

松本文部科学大臣「暫定予算計上などに努める」

高市早苗首相が1月19日に会見を開き、23日の通常国会冒頭で衆議院を解散すると表明した。高市首相は「高市早苗が内閣総理大臣でよいのか、国民の皆さまに決めていただく」と語った。衆院選は1月27日公示、2月8日投開票の日程となる。



翌20日の閣議後会見で、松本洋平文部科学大臣は「衆議院の解散は総理大臣の専権事項であり、私からのコメントは差し控えたい」。



松本文部科学大臣

その上で、(2025年10月の大臣就任以来)これまでさまざまな取り組みを進めてきたので、これからもそれらをしっかりと着実

に進めていきたい。総理会見でも発言があったが、いわゆる高校無償化、学校給食費の抜本的負担軽減については、関係法令の年度内成立や暫定予算の計上などあらゆる努力をして実現させていきたい」と話した。

また、今後、大学受験シーズンに衆院選が行われることとなるが、この影響について聞かれた松本大臣は「2月の上・中旬に衆院選が行われる場合、地域や学校によつては大学や高校などの入試期間と選挙期間が重なることがあり得る。公職選挙法において、学校や病院などの周辺では静かな環境を保持するよう努めることとなっている。各候補者においては、この規定を踏まえ、受験生が集中して試験に臨むことができるようご留意いただきたい」と述べた。